PN J613-M3518-01 Rev.A 000825

PCI-TXB

取扱説明書・Windows®95編

http://www.corega.co.jp/

この度は、「corega PCI-TXB」LANアダプター（以下、本製品）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を Windows95 のもとで正しくご利用いただくための手引きです。ハードウェアの設定などは、本製品に付属の取扱説明書＜Windows98 編＞をご覧ください。

また、以下に挙げた例は一例であり、お客様の環境によっては、手順や表示画面が異なることがありますことをご了承ください。

目次

1 ドライバーのインストール 1
1.1 用意するもの 1
1.2 Windows95 のバージョンの確認 1
1.3 新規インストール 2
2 インストールの確認とアダプターの設定 3
2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認 3
2.2 ネットワークの設定 4
2.3 ドライバーの設定 4
3 ドライバーの削除 5
4 ドライバーの再インストール 5
5 ドライバーのトラブル 6
5.1 デバイスマネージャで正常に認識されない 6
5.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く 6
5.3 リソース値重複の回避 6
5.4 ご使用コンピュータの確認 6

1 ドライバーのインストール

1.1 用意するもの

- PCI-TXB 本体・UTP ケーブルなど
- コンピュータ（Windows95 インストール済み）
- PCI-TXB ドライバーディスク（本製品に付属）
- Windows95 の CD-ROM またはフロッピーディスク

  プリインストール版 Windows95 をご使用の場合は必要なファイルが予め ハードディスクにコピーされていますのでマスターディスクは必要ありません。ただし、一度 OS を削除し、再インストールしている場合は必要です。

注意 Windows95 がコンピュータ購入時にあらかじめインストールされた形態で提供されたもの、すなわちプリインストール版である場合、Windows95 のバックアップ CD-ROM が付属しているかどうかをご確認ください。バックアップ CD-ROM が付属していない場合は、安全のために必ずフロッピーディスクに Windows95 のバックアップを取った後でドライバーのインストールを開始してください。バックアップ手順は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

1.2 Windows95 のバージョンの確認

Windows95 には、Version950、VersionA、VersionB、VersionC の 4 種類のバージョンがあります。各バージョンによって、本製品のドライバー・インストール時に表示されるメッセージが異なります。まず、ご使用の Windows95 のバージョンを確認してください。

1. コンピュータの電源をオンにし、Windows 95 を起動してください。

2. 「コントロール パネル」の「システム」アイコンをダブルクリックしてください。

3. 「システムのプロパティ」ダイアログが現れます。「情報」タブをクリックしてください。

■ Version950

「システム：」の番号が「**4.00.950**」であれば Version950 です。

図 1.2-1 Version950

■ VersionA

「システム：」の番号が「**4.00.950a**」であれば VersionA です。

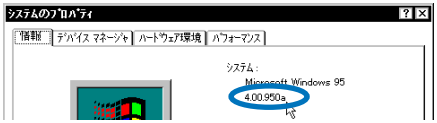

図 1.2-2　VersionA

■VersionB、VersionC

「システム：」の番号が「**4.00.950 B**」であれば VersionB、「4.00.950 C」であれば VersionC です。

図 1.2-3　VersionB

1.3 新規インストール

1. 本製品を コンピュータ の拡張スロット に取り付けた 状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows95 を起動してください。

2. Windows95 は、本製品を自動的に検出し、「デバイスドライバウィザード」が起動します。※1「次へ」をクリックしてください。

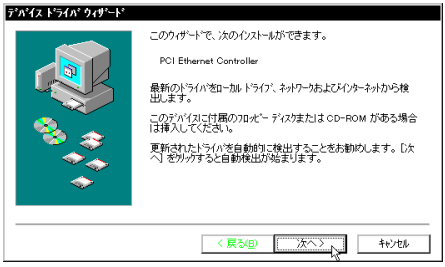

図 1.3-1　デバイスドライバウィザードの起動

3. 次の画面がを表示されますので、「場所の指定 ...」をクリックしてください。

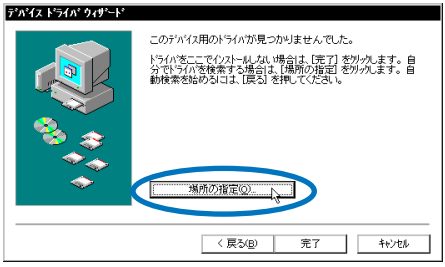

図 1.3-2　場所の指定

※ 1.　**Version950 または VersionA の場合は、表示されるダイアログが異なります。**

4. 本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「**A:\windows.95**」と入力し「OK」をクリックしてください。

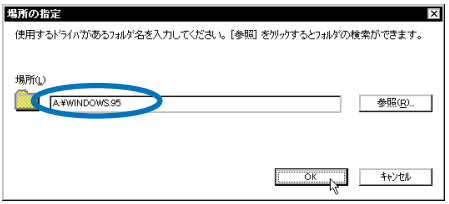

図 1.3-3　ドライバーファイルの所在

5. 次のダイアログで、ドライバーの名称が「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」となっていることを確認し、「完了」をクリックしてください。

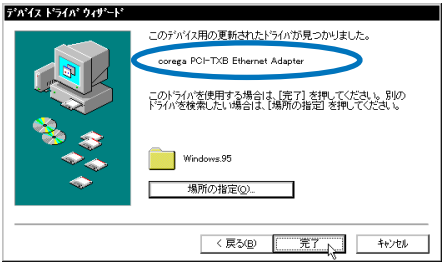

図 1.3-4　「デバイスドライバウィザード」の完了

6. 次のダイアログが表示される場合は、本製品のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、「OK」をクリックしてください。

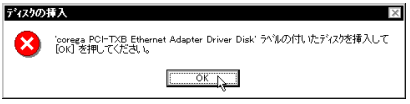

図 1.3-5　ドライバーディスクの要求

7. 続いて「ファイルのコピー」ダイアログで「cobpcix3.sys が見つかりませんでした。」と表示されますので、「ファイルのコピー元」に「**A:\windows.95**」と入力し「OK」をクリックしてください。

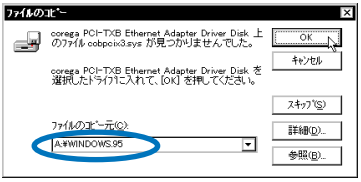

図 1.3-6　ファイルのコピー元の指定（sys ファイル）

ご使用のコンピュータに初めて LAN アダプターをインストールする場合は、ここでコンピュータをネットワーク上で識別するための情報（コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明）の入力を促すダイアログが表示されます。詳細はシステム管理者にご

確認ください。なお、このダイアログの内容をインストール終了後に変更するには、「ネットワーク」(コントロールパネル)をダブルクリックし、「ユーザー情報」タブを選択してください。

8. 必要なWindows95 ファイルのコピーが始まります。Windows95 のマスターディスクが要求された場合は、「OK」をクリックし、ご使用の形態に応じて以下のようにパスを入力します。

図 1.3-7　Windows95 マスターディスクの要求

■プリインストール版 Windows95 の場合

この場合は Windows95 ファイルが既にハードディスクにコピーされています。画面上ではディスクを入れるように要求されますが、そのまま「OK」をクリックしてダイアログを閉じ、「ファイルのコピー元」に「**C:\windows\options\cabs**」を指定してください。

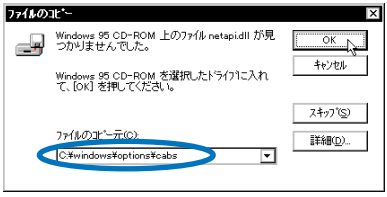

図 1.3-8　パスの指定（プリインストール版）

機種によっては\windows\options\cabsと異なる場所に保存されていることもあります。その場合はコンピュータのマニュアルをご覧になるか、検索コマンドにより拡張子「cab」のファイルが存在するディレクトリを探し、そのディレクトリパスを指定してください。

■CD-ROM の場合

CD-ROM をドライブに挿入し、「ファイルのコピー元」に「**D:\win95**」を入力してください。

■フロッピーディスクの場合

指示された番号のディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「ファイルのコピー元」で「**A:**」を入力してください。

注意

重要：場合によっては、「cobpcix3.sysが見つからないので Windows95の CD-ROM やフロッピーディスクを入れください」というようなダイアログが表示されることがあります。「cobpcix3.sys」はドライバーディスクに収められているファイルです。このような場合は、「ファイルのコピー元」に「A:\windows.95」を入力してください。

9. 「システム設定の変更」ダイアログが表示されます。フロッピーディスクが入っている場合は取り出し、「再起動しますか？」という問いに対して、「はい」をクリックし、コンピュータを再起動します。

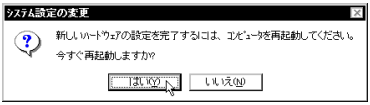

図 1.3-9　システム設定の変更

注意

ご使用のコンピュータに既に他のネットワークアダプターのドライバー（ダイアルアップアダプタ等）がインストールされている場合、このダイアログは表示されません。この場合も必ず再起動して本製品のドライバーを有効化してください。

10. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き、「2 インストールの確認とアダプターの設定」にお進みください。

注意

インストール後の再起動時に、以下のようなダイアログが表示されることがあります。その場合は、「いいえ」ボタンをクリックしてください。LAN 環境で TCP/IPをご使用になっている場合は、DHCPの設定に関してシステム管理者にご相談ください。

図 1.3-10 DHCP メッセージ

2 インストールの確認とアダプターの設定

再起動したら、はじめにドライバーのインストールが正常に行われていることを確認し、さらに必要な設定を行います。

2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認

1. 「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックし、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。インストールが正常に行われていれば、「ネットワークアダプタ」の下に「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」が表示されます。

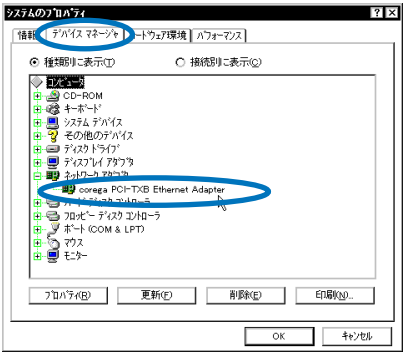

図 2.1-1　デバイスマネージャ

Windows95 Version 950/Aでは「OK」は「閉じる」となります。

これらのアイコンに「×」「?」「!」などのマークがついていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく「不明なデバイス」や「その他のデバイス」にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは「5 ドライバーのトラブル」をご覧ください。

2. 次に、デバイスマネージャで「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」（図 2.1-1）を選択（反転表示）し、「プロパティ」をクリックします。「情報」タブの「デバイスの状態」で「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることをご確認ください。

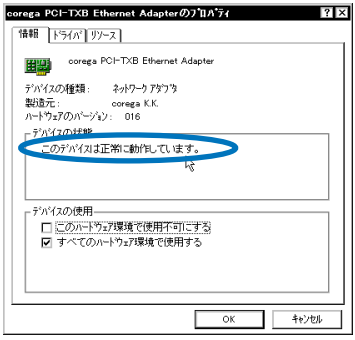

図 2.1-2　デバイスの状態（Version B/C）※ 1

Windows95 VersionBまたはCをご使用の場合、「ドライバ」タブが存在します。「ドライバ」タブを選択すると、「このデバイスには、ドライバファイルは必要でないか、または組み込まれていません。」と表示されますが、これは本製品の仕様によるもので、ご使用には支障ありませんので安心してご使用ください。

3. 本製品が使用するI/Oベースアドレス、インタラプト（IRQ）などは、Windows95 によって自動的に設定されます。「リソース」タブを選択すると、これらを確認することができます（表示されるまで、時間がかかります）。

図 2.1-3　リソースの確認

※ 1.　Version 950/A では、「デバイスの使用」の表示内容が異なります。

2.2 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックし、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには（WWW ブラウザーなどをご使用になるためには）、TCP/IP プロトコルが必須です。ネットワーク接続の設定に関しては、取扱説明書＜Windows98 編＞の「5 ネットワークの設定」（p.33）」を参照してください。設定に関する詳細は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。
必要な設定を終えたら、「ネットワーク」ダイアログの「OK」をクリックしてください。再起動を促すダイアログが表示されます。設定内容は、再起動後から有効となります。

図 2.2-1　ネットワークの設定

上図（図2.2-1）はWindows95 VersionBおよびCのものです。Version950 および A の場合は「アクセス権の管理」タブはありません。

2.3 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

1. 図 2.2-1で「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」→「プロパティ」→「詳細設定」タブと進み、ネットワーク通信モードの設定を行います。「値（V）」リストからご使用の環境に合ったものを選択し、「OK」をクリックしてください。詳細はシステム管理者にご確認ください。

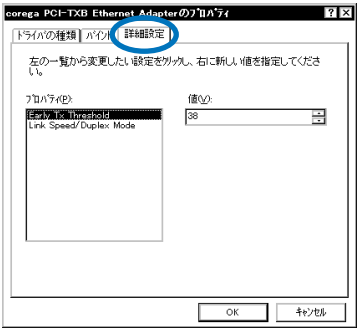

図 2.3-1　ネットワークメディアの設定

各項目の意味は以下の通りです。

Early Tx Threshold

デフォルトは「38」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推奨いたします。

Link Speed/Duplex Mode

- Auto Mode（デフォルト）

  Auto-negotiationを有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、接続先機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしている場合

  可能な最高の速度（100/10 Mbps）およびモード（Full/Half duplex）となります。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合

  接続先機器（ハブなど）が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto Mode」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbps）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合に最高速度（100Mbps Full duplex）を得るためには、「100Full Mode」を選択する必要がありますのでご注意ください。
  接続先機器が Half duplex（半二重）のみに対応している場合、本製品を Full duplex（全二重）に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、「Auto Mode」を選択してください。

- 100Full Mode

  100Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

- 100Half Mode

  100Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

- 10Full Mode

  10Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

- 10Half Mode

  10Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

2. 「ネットワーク」ダイアログに戻り、「OK」をクリックします。

3. 「システム設定の変更」ダイアログで「再起動しますか？」という問いに対して、「はい」をクリックしてください。ドライバーの詳細設定は再起動することで値が有効となります。

3 ドライバーの削除

ドライバーの再インストールを行う場合、ドライバーを一旦削除してから行います。**ドライバーのインストールに失敗した場合も**、この手順にならい、間違ってインストールされたドライバーを削除してから、あらためてインストール作業を行います。（「5 ドライバーのトラブル」もご覧ください。）

ドライバーを削除する手順は以下の通りです。

1. 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブと進み、「ネットワークアダプタ」の下から項目「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」を選択し、「削除（E）」をクリックしてください。

図 3-1 ドライバーの削除

2. 下のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図 3-2 デバイス削除の確認

3. 本製品のアイコンが消えていることを確認し、「システムのプロパティ」の「OK」（または「閉じる」）ボタンをクリックしてください。

本製品を使用しない場合は、Windows95 を「終了」し、コンピュータの電源をオフにして※1、拡張スロットから本製品を取り外してください。次回の Windows95 起動時から、本製品のドライバーがインストールされていない状態となります。

4. 以上でドライバーの削除は終了です。**ドライバーの再インストールを行う場合は、本製品を取り外さずに、コンピュータを再起動してください。**

4 ドライバーの再インストール

ドライバーを再インストールする手順は以下の通りです。

1. 「3 ドライバーの削除」の手順にしたがい本製品のドライバーを削除します。

2. 「1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

※1. この時、ご使用コンピュータの電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

5 ドライバーのトラブル

ここではドライバーのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

5.1 デバイスマネージャで正常に認識されない

「2.1 デバイスマネージャによるインストールの確認」にしたがって、インストールの確認を行った際に「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

■「ネットワークアダプタ」の項目がない

■「その他のデバイス」「不明なデバイス」の下にアイコンが表示されている

この場合、以下のような操作を行ったことが考えられます。

- ドライバーインストールの作業中に行われるnetapi.dll などのWindows95 関連のファイルのインストールをキャンセルしてしまった。
- 図 1.3-6 (cobpcix3.sys の要求) において「キャンセル」をクリックした。

■アイコンに「!」「?」マークがある

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

1. 不正にインストールされた「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」アイコンを選択し、「削除（E)」ボタンをクリックしてください。

2. 「3 ドライバーの削除」の手順2. 以降を実行してください。

3. 「1 ドライバーのインストール」の手順にしたがい本製品のドライバーをインストールします。

5.2 デバイスマネージャで「×」マークが付く

アイコンに「×」マークがある場合は、デバイスが「使用不可」に設定されています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

1. 「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」を選択（反転表示）し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「情報」タブを表示します（図 2.1-2)。

2. Version 950 または A の場合、「Original Configuration」にチェック「✓」を付けてください。

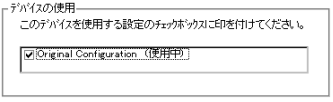

図 5.2-1 デバイスの使用許可の設定（Version 950/A）

3. Version B またはC の場合、「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェック「✓」を外し、「すべてのハードウェア環境で使用する」にチェック「✓」を付けてください。

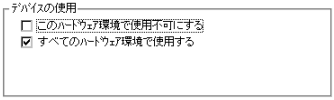

図 5.2-2 デバイスの使用許可の切り替え（Version B/C）

5.3 リソース値重複の回避

前述の手順にしたがってドライバーの削除および再インストール作業を行っても、なおアイコンに「?」、「!」マークが付いている場合は、他の拡張アダプターとリソースの値が重複している可能性があります。

特に、Plug & Play に対応していない他の拡張アダプターを本製品とともに使用している場合は、その拡張アダプターが使用するリソース値を Windows95 に予め登録（「予約」と呼びます）し、その値が他の Plug & Play 対応デバイス（本製品を含む）によって使用されないようにしておくと、値の重複を回避できます。

コンピュータ機種によっては、「BIOS」に組み込まれている PCI や ISA の設定ユーティリティを使用して、リソースの重複を回避するものがあります。詳細は、ご使用のコンピュータのマニュアルをご覧ください。

1. Plug & Play 非対応の拡張アダプターが使用するリソースの値（インタラプト（IRQ)、I/O ベースアドレス、メモリ、ダイレクトメモリアクセス（DMA））を調べておきます。詳細は、その拡張アダプターのマニュアルをご覧ください。または、メーカーにお問い合わせください。

2. 「コントロールパネル」→「システム」→「デバイスマネージャ」タブと進みます。

3. 「デバイスマネージャ」タブで「コンピュータ」を選択し、「プロパティ」→「リソースの予約」タブと進みます。

4. 該当する項目を選択し、「追加」ボタンをクリックします。画面の指示にしたがって予約するリソースの値を登録してください。

5.4 ご使用コンピュータの確認

ご使用コンピュータのOS がWindows95のプリインストールタイプでない場合、（Windows3.1 からアップグレードされた場合など）は、ご使用のコンピュータ本体が Windows95 の plug & play 機能に対応していない可能性があります。「5 ドライバーのトラブル」や取扱説明書＜ Windows98 編＞の「6 ネットワークのトラブル」(p.45)」の手順で操作しても正常に動作しない場合は、ご使用コンピュータメーカーにお問い合せください。